



新保 孝員  
議 員

### 北陸新幹線と並行在来線、大糸線について

質 問

北陸新幹線の開業日、糸魚川駅の停車本数が発表されたが、特急廃止の代替措置とも

いえる新潟への快速列車1往復について、市民の利便性確保の点からどのように捉えているか。

並行在来線の乗車料金等について、並行在来線会社の県域を越えた広域連携についてはどうか。また、大糸線の存続についてどのように考えているか。

市長答弁

北陸新幹線開業日が正式に決定したことから、開業イベントやおもてなしに、より一層、力を入れていく。また、速達タイプの「かがやき」が



田中 立一員  
議 員

### 歩きたくなる街、健幸都市（スマートウエルネスシティ）づくりについて

質 問

「運動する」という意識のハードルを課すことなく自然に

歩かされる健幸都市、先進予防型社会の街づくりについて市の考えを伺う。健康センター「はびねす」の利用状況と他の施設での運動教室の参加状況「健幸モデルコース」設定の考えについてはどうか。

市長答弁

健康づくりセンター「はびねす」は、平成25年度で83,000人の方から利用していただいている。また、水中運動教室は3,500人、健康体教室では14,500人、地区運動教室は11,900人の方から参加いただいた。ウォーキングモデルコースは、能生地域で6、糸魚川地

糸魚川駅に1本も停車しないことは大変残念であるが、停車タイプの「はくたか」が現状の特急とほぼ同じ15往復であり、最低ラインは確保されたものと考えている。新潟への快速列車については、1往復の運行では利便性の低下と利用者の減少に拍車が掛かることを危惧している。

並行在来線の乗車料金について、えちごトキめき鉄道では、開業後5年間は現行の運賃水準に据え置くこととしている。また、大糸線の経営はJR西日本が責任をもって行うものと考えている。

域で25、青海地域で9を設定しており、この中には塩の道、自転車道、ジオサイトを利用したコースも含まれている。また、このほかに、市内には「新潟県健康ウォーキングロード」に登録されているコースが4つあるが、今後必要に応じた検討と市民周知に努めていく。

### 農業政策について

質 問

7月に発足した「糸魚川市広域協定組織」の参加状況と

### 子ども・子育て支援制度について

質 問

当市における年少人口の推移と保育園・幼稚園等施設の現状及び今後について、どのように考えているか。新制度の特徴と市町村の保育に関する責任と今後の取り組みについてはどのように考えているか。

教育長答弁

年少人口の推移については、住民基本台帳人口では平成20

参加農家からの評価について、また、農地の集積で「出し手」「引き受け手」の状況についてはどうか。

担い手育成について、新規就農者の状況、市外からの就農者の定住化策はどうか。

市長答弁

広域協定組織については、共同事務による負担の軽減等が評価され、34地区、100集落から参加いただいている。「受け手」は43経営体であり、「出し手」は9月下旬以降、募集を行う。新規就農者は、青年就農給

年4月現在の年少人口5,884人に比べ、26年は5,048人で、836人、14.2パーセントの減となっている。糸魚川地域は12.8パーセント、能生地域は18.2パーセント、青海地域は14.7パーセントの減である。

新制度における実施主体は市であり、責任を持って取り組んでいく必要があると考えている。当市にとってふさわしい保育体制となるよう、子ども・子育て会議の中で検討していく。

### 《その他質問項目》

○災害対策について

付金の開始型で1名、準備型で2名、農の雇用事業で1名となっており、また、首都圏で開催される「にいがた暮らしセミナー」や「ふるさと回帰フェア」に参加し、市外からの就農に取り組んでいる。

### 《その他質問項目》

○公共施設のピアノの管理・活用と文化振興について